

かつお一本釣り漁業 公表用実技試験問題（上級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着（5分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
- ② 救助ロープをもやい結びで装着する。

【使用機材】各自通常使用中の上記装具、ロープ2m（人数分）

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（12分）

- ① かえる又結び ② 巻結び ③ アンカーベント（錨結び）
- ④ バックスプライス ⑤ アイспライス ⑥ ショートスプライス

【使用機材】長さ2m、中程度の太さのロープ数本（人数分）

(2) 漁具の製作（15分）

鳥の毛を付け、皮を巻いた擬餌針を3つ作る。

【使用機材】別紙参照。（人数分）

3. 漁具・漁労機械の操作

(1) ソナー等の映像判断（5分）

画像を見て、操業に必要な以下情報を読み取る。

- ① 魚群反応、② 船首方向、③ 船首から魚群の方位、④ 船から魚群の距離、
- ⑤ 魚群の深さ

【使用機材】大日本水産会が用意

(2) 鳥レーダーの映像判断（5分）

画像を見て①船首方位、②船首から鳥群の方位、③船と鳥群の距離を判断する。

【使用機材】大日本水産会が用意

(3) ロープの巻き上げ（5分）

錘を付けたロープをガイド（フェアリーダー、サンポウローラー等）に通し、ローラーで巻き揚げる。

【使用機材】ロープ20m、キャプスタン等のローラーを設備した漁船。

以上

<別紙>

材料：釣り針（返しのあるもの）、



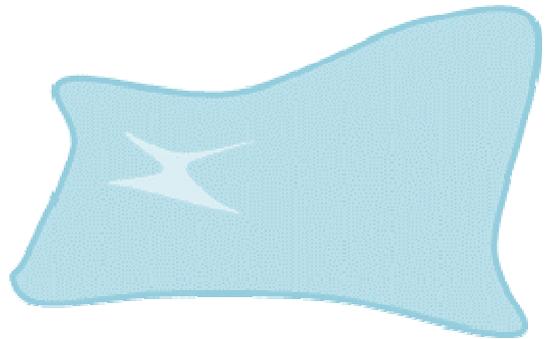
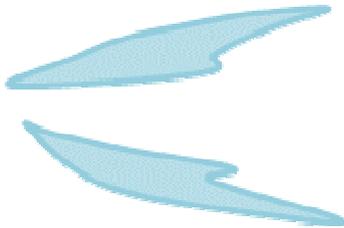
角（貝殻、動物の角類、人工的なもの）、



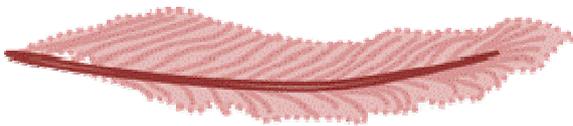
*釣り針と角が一体化したもので可



魚の皮（ビニールシート可）、



鳥の羽



完成品

